

(抄訳)

**AIGは損害保険事業部門のチャーターティスを再編
ピーター・ハンコックがCEOに就任
コマーシャル（法人向け）およびコンシューマー（個人向け）の
2つのグローバルな主要部門を設置
引受、販路拡大、商品開発、リスクマネジメント、
保険金支払いの責務を明確化**

ニューヨーク、2011年3月31日 アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（「AIG」）は、本日、損害保険部門であるチャーターティスの再編と、その新しいCEOへのピーター・D・ハンコック（現在はAIGのファイナンス、リスク及び投資担当のエグゼクティブ・バイスプレジデント）の就任を含む新経営陣を発表しました。ハンコックは現CEOのクリスチャン・P・ムーアの任を引き継ぎ、ムーアはチャーターティスのバイスチェアマンに就任し、ハンコックにレポートを行います。

新しい組織体制においては、チャーターティスはコマーシャル（法人向け）部門とコンシューマー（個人向け）部門の2つのグローバルな主要部門によって構成され、これらをサポートする保険金支払いや、数理、引受方針などの機能は、2つの主要事業の中に統合されます。これまでチャーターティス U.S. のCEOを務めていたジョン・Q・ドイルが全世界のコマーシャル部門を統括し、現在CAO（最高総務責任者）を務めているジェフリー・L・ヘイマンが全世界のコンシューマー部門を統括します。ドイルとヘイマンは、統括する部門の全ての引受と業績の責任を担い、ハンコックにレポートします。

AIGの社長兼CEOであるロバート・H・ベンモシェは次のようにコメントしました。「私たちの損害保険事業における最優先事項は、引受、保険金の支払い管理、準備金、リスク・マネジメントの全ての面を強化し、堅調なリスク調整後収益を上げることです。私たちは、これまでの長期間の実績の上に現在展開しているビジネスに連動するこの体制が、私たちのお客様や投資家の方々が期待するパフォーマンスを発揮するとともに、お客様により良い商品やサービスを提供することにつながると信じています。」

「私は、ムーア氏のこれまでのAIGへの貢献について感謝しています。彼には今後も事業展開戦略や顧客サービスに関してハンコック氏と密接に連携しながら、新しい組織体制の導入にあたり中心的な役割を果たしてもらいます。ムーア氏は、これまで30年以上にわたってAIGで働き、特に非常に困難な期間において多大な貢献をしてくれました。今後もこの組織が前進していくにあたり、重要な役割を担い続けてくれることを期待しています。」

ハンコックは新CEO就任にあたり、次のようにコメントしました。

「私たちの損害保険事業は業界のリーダーとして、有能な人材と、お客様やビジネス・パートナーへの責務を果たすことについての定評があります。私は、このような機会を得たことを非常に名誉に思いますし、この新しい体制によって、私たちのお客様や販売パートナーの皆様のために、私たちの組織の起業家精神に富んだ創造力が全世界規模で強化され、新しい時代におけるビジネスやリスクの需要に応じていくことができると信じています。この体制によって、お客様に対してより一貫性のあるサービスを提供し、また多国籍企業の事業に対するサービスをさらに向上させ、お客様にとってより恒常的なパートナーとして貢献できるよう私たちの基盤が強化されたことを確信しています。」

加えて、これまでチャーターティス・インターナショナルの社長兼CEOを務めていたニコラス・C・ウォルシュは、グローバル・ディストリビューション（販売網）を統括し、ハンコックにレポートします。このグローバル・ディストリビューション部

門は、コマーシャル、コンシューマー両部門をサポートし、顧客ニーズに注力して、引受や損害サービス部門と協力して、グローバルおよびローカルレベルの保険ソリューションをお客様に提供します。

チャーティスは4つの主要地域に分類されます。米国・カナダは、現在レキシントン・インシュランス・カンパニーの社長を務めるピーター・J・イーストウッドによって統率されます。ヨーロッパはアレキサンダー・R・ボウ、ファー・イースト（日本・韓国）はホゼ・A・ヘルナンデス、新興地域はフリオ・A・ポルタラティンによって統率されます。これらの地域の代表者は直接ハンコックにレポートし、それぞれの担当地域における通常の法定業務、財務など一般ビジネス上の課題に加えて、コマーシャル、コンシューマー、ディストリビューションの各戦略の実行に専念します。今回、さらに強化されたグローバルな組織体制によって、チャーティスはその広範な専門性を、顧客に対して最大限提供できる基盤が整いました。新しい体制においては、引受、販路拡大、商品開発、リスク・マネジメント、保険金支払いの責務が明確に位置づけられました。この新体制によって、優れた引受及び保険金支払いの経験をより強力な販売基盤と連動して最大限に活用できるようになります。これによって、将来的にはチャーティスの業績が向上し、顧客にとっての価値も上昇することになります。

過去14ヶ月間、ハンコックはAIGにおいて中枢的な役割を果たしてきました。ハンコックはAIGの資本再構成化計画の主体的な立案者であり、この計画によりAIGはニューヨーク連邦準備銀行に対する負債を返済し、最終的には政府による会社保有から脱することになります。ハンコックは、AIGのエンタープライズ・リスク・マネジメントの機能を再構築を統括し、AIGFP社のポートフォリオからのリスク排除を完了し、同社の従来ポートフォリオをAIGインベストメントへ統合させました。現在ハンコックの直属の部下である、AIGのCFOを務めるデイビッド・ハーゾック、投資部門を統括するウィリアム・ドーリー、エンタープライズ・リスク・マネジメントを統括するシド・サンカランは、今後はベンモシェヘレポートします。社内監査部門を統括するポーレット・マリングズ・ブラドノックはAIGのCAOであるマイケル・コーワンにレポートします。彼女はAIGの取締役会のメンバーで監査委員会の議長であるクリストファー・リンチに直接レポートも行います。UGCのCEOであるエリック・マルチネスは引き続きハンコックにレポートします。チャーティスは、損害保険業界の世界的なリーダーであり、4,500万以上のお客様にサービスを提供しています。90年の歴史、業界内で際立って多様性に富む商品・サービスの提供、損害サービスに関する深い専門性、高い財務力により、チャーティスは、法人および個人のお客様に対して、自信を持ってリスク管理サービスの提供を行います。2010年のチャーティスの正味収入保険料は316億ドルでした。

ピーター・D・ハンコック、CEO、チャーティス

2010年2月にAIGに加わる前は、ハンコックはキー・コープの副会長を務めていました。その前は、J.P.モルガンに20年間務め、グローバル固定利付きビジネスや、グローバル・クレジット・ポートフォリオに従事し、また同社のCFOやリスクマネジメント委員会の議長を務めました。ハンコックは、また戦略的リスクマネジメントや資産運用、革新的年金ソリューションに特化したコンサルティング会社であるインテグレートッド・ファイナンス・リミテッドの共同設立者でもあります。

クリスチャン・P・ムーア、バイスチェアマン、チャーティス

ムーアはこれまでチャーティスの社長兼CEOを務めていました。ムーアは1981年にAIG傘下のナショナルユニオンに入社しました。チャーティスCEOに就任する前は、米国・カナダにおけるAIGのコマーシャル及びパーソナルラインの損害保険事業全般を統括するAIGプロパティ・カジュアルティ・グループの社長兼CEOを務めていました。

ジョン・Q・ドイル、CEO グローバル・コマーシャル部門、チャーティス
ドイルはこれまでチャーティスの米国とカナダにおける企業向け損害保険部門及びプライベート・クライアント・グループを統括するチャーティス U.S. の社長兼 CEO を務めていました。ドイルの 25 年のキャリアにおいては、AIG の米国の企業向け損害保険を提供している会社においてマネジメント職や、専門的な賠償責任保険、超過傷害保険、労災保険、営業統括などの分野の要職を歴任してきました。

ジェフリー・L・ヘイマン CEO グローバル・コンシューマー部門、チャーティス

ヘイマンは個人向けの保険事業の上級職として長期にわたる経験を有しており、国際的な事業における経験も豊富に有しています。2009 年にチャーティスのシニア・バイスプレジデント兼 CAO に就任しました。その職位において、チャーティスのグローバルコミュニケーション、オペレーション&システム、アドミニストレーション、マーケティングやプログラム・マネジメントを統括しました。またヘイマンは 12 年近い東京勤務を経てファー・イースト地域での様々な要職に加え、チャーティス・インターナショナルのコンシューマー・ラインの社長を務めていました。

ニコラス・C・ウォルシュ、バイスチェアマン、チーフ・ディストリビューション・オフィサー、チャーティス

ウォルシュはこれまでチャーティス・インターナショナルの社長兼 CEO を務めていました。ウォルシュは 37 年に渡り AIG の国際分野における経験があり、アメリカン・インターナショナル・アンダーライターズ (AIU) の社長兼 CEO も務めていました。

ピーター・J・イーストウッド、社長兼 CEO、チャーティス US

イーストウッドは現在のレキシントン・インシュランス・カンパニーの社長に加えて、今回の役職を担います。イーストウッドは 20 年以上 AIG での経験があり、また、レキシントンのヘルスケア部門の上級職やリスク・スペシャリスト・カンパニー社の社長を務めました。

アレキサンダー・R・ボウ 社長兼 CEO、チャーティス・ヨーロッパ・ホールディングス

ボウは現在のチャーティス・ヨーロッパ・ホールディングスの社長兼 CEO を継続して務めます。ボウはニューヨークやロンドン、そしてパリなどで現在の役職を務め、AIG において 30 年近い経験を持っています。

ホゼ・A・ヘルナンデス 社長兼 CEO、チャーティス・ファー・イースト・ホールディングス株式会社

ヘルナンデスはチャーティス・ファー・イースト・ホールディングスの社長兼 CEO を継続して務めます。ヘルナンデスは AIG の国際部門において 17 年以上に渡りリーダーシップをとっています。

フリオ・A・ポルタラティン 社長兼 CEO チャーティス新興地域

ポルタラティンはアジア・パシフィック地域まで拡大した新興地域（以前のエマージング・マーケット）の社長兼 CEO を継続して務めます。ポルタラティンは保険業界において 30 年近い経験を持ち、20 年近くに渡り AIG でリーダーシップを発揮しています。

#

本プレスリリースには、1995 年私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) において意味されるところの「将来の見通しに関する記述」が含まれています。かかる記述は、将来における事象に関する AIG の考えを反映しており、AIG の予測に基づいています。かかる記述は、リスクおよび不確実性にさらされています。米国の証券法が要求する重要な情報の開示につき

AIG が引続き負う義務を除き、AIG は将来の見通しに関する記述につき、本プレスリリースの日付以降に生じた事象および状況を反映させるために新たな情報を提供する予定はありません。